

総務民生常任委員会 議事録

日時：令和7年4月22日（火）

午前10時15分～

場所：第1・2委員会室

出席者

委員名 ☐委員長 渡邊 千恵美 ☐副委員長 岩佐 秀一 ☐委員 遠藤 龍之
☐委員 品堀 栄洋 ☐委員 齋藤 俊夫 ☐委員 岩佐 孝子

欠席者なし

会議次第

開会前に副町長から2件、報告。各課長から説明。5/23全協で改めて説明する。

1 開会宣告〔委員長〕

2 連絡〔事務局〕

4月30日（水）午前10時00分 議会運営委員会

5月20日（火）午前10時00分 全員協議会（議会）

23日（金）午前10時00分 全員協議会（執行部）

30日（金）午前10時00分 全員協議会（議案配付）

6月 2日（月）正午 一般質問締め切り

午後 2時00分 議会運営委員会

※ 今回からSideBooksの04_常任委員会 総務民生常任委員会フォルダに開催通知及び
次第を格納します。毎日の確認をお願いいたします。

3 事 件

(1) 公共交通事業について

町民生活課長：資料1～3に基づき説明

○質疑

岩佐孝子委員：通学便朝の時間帯利用者が増えている。中浜からくる便、4名該当者いるが時間帯で乗車できていない。調整できないか。通学便、土日休みか。

町民生活課長：7：40学校到着、15：50各小学校出発を基準に運行している。早く終わった場合、待っていただいている。他の時間帯は別な利用者がいる。スクールバスではなく、町民バスの通学便です。登録を受け付けてから路線は設定している。坂元は一便で運航すると山手だけで10名登録。満員。

品堀委員：通勤者が使えなくなっている。予約町内在住なので、改善求める声がある。

町民生活課長：日中の高齢者、朝夕の小中学生に寄せている。それ以外の方は予約便に登録願っている。通勤で路線に乗れていた方が乗れていない声は届いている。今回のコンセプトにとらえるかも含めて検討する。物理的に何を追加して対応できるかも、議題にあげて対応する。町外の方は、やってできないことはない

ので、町内の方の対応が減るので、調整し対応していきたい。定期運行型はどなたでも利用できる。

品堀委員：予約運行型、年寄りの人が理解できない。そこを進めることが利用者増につながる。

町民生活課長：窓口に来ていただいた方には丁寧に説明し、理解いただけている。冊子ではなくワンペーパーで周知できるようなものを検討している。

遠藤委員：町外の方が乗れることは、浜吉田駅経由など創設から当然だと感じていた。町に用事があってくる方は対象にしていいいのでは。

町民生活課長：条例上規定はないので、町外の方の利用は可能。ただし、町内の交通弱者にスポットを当てているので、状況を見ながら対応していく。必要なところには広げていく。

遠藤委員：検討の際に、多額の費用をかけている。検討検証結果が新たな計画に生かされているのか。そもそも公共交通とは。利用者の立場に立って、途上とのことから検討されたい。

町民生活課長：その都度検証しているが、対応はさじ加減。どこまでするか。財源、人的資源の限度があるので、やれる範囲でやってきたので、極力かなえられるように検討する。

遠藤委員：設立当初は2千万円で事業実施。そこから6千万になり5千万になった。足の確保に1億かかっている。国がこれまで財源を提供してこなかったが、新たな補助の説明があったので、積極的に活用されたい。

副委員長：5年から6年の減少の分析は。

町民生活課長：未だしていない。小中学生を見ても5年度が多かったように見える。毎日使う方が一人減ると200人減る。4月以降は今後状況見ていくが、小学生の登録が増えた。

副委員長：75歳以上の利用者が減っている。小中学生は自然減だと思うが。

町民生活課長：5年度75歳以上、8千人利用。6年度は7千600人。高齢化率は上がっているが高齢者が増えているわけではなく、自然減は死亡者が多い。

副委員長：利便性が悪くなったから減ったわけでなければいい。

齋藤委員：資料2、通学便に便乗は。

町民生活課長：制度上、可能。登録車で満員になっているところもある。

齋藤委員：病院の診療時間を考慮されたいという意見が複数ある。なかなか難しい。公共交通会議に利用者代表の方がメンバーに入っていると思うが。

町民生活課長：以前は公募だったが、現在は区長、民生委員等を町民代表にしている。

齋藤委員：限られた予算、人材で対応はいろんな声がある中で最大公約数を拾う必要がある。公共交通会議で情報共有したうえで、検討するのがいい。

町民生活課長：道路運送法、地域の交通運行者との協議、地域公共交通会議の幅が広がってきている。会議の中では状況理解いただいて、同意もらっている。病院の診療時間は、バス時間に合わせてもらいたい。ただ、スポットで宮城病院に先生が来る時間帯への検討はしたい。

齋藤委員：会議の結果を区の総会で委員が説明してくれればいいが、なかなか難しい。実際に利用される方を委員に加えてもいいのでは。タクシー事業者の廃業を見

て、人手不足の問題なのか、別な要因なのか。町内三社のドライバー確保状況は。

町民生活課長：坂元タクシーは震災後、寺嶋さんが継続していただいていた。葬祭事業もコロナの影響もあり、そのようなことになったようだ。他の事業者もそれなりの条件ではないと雇用できない。ハイタクとは月一情報交換しているが、予約便にタクシーから流れている声もあった。すべてを町民バスで行うこと事業者のこともあるので難しい。

齋藤委員：社会環境整備を考えたときに、最適化、最大公約数を考えたときなかなか難しい。停留所の名称変更は。

町民生活課長：指定条項場所は平田クリニックの場合、玄関前まで行くが、平田クリニック前の場合は近くの場所になる。

齋藤委員：ダイヤ表に記載はあるか。

町民生活課長：そこまでの注意書きは記載していない。前がついているものについていないものわかりやすくしたい。

岩佐孝子委員：定期運航便の利用者はどうか。

町民生活課長：集計していないが、日報を確認したところ100ほどあったものが60とかになっている。小学生が路線から予約便に振り替えたと考えている。

岩佐孝子委員：高齢者は定期運航便の場所まで出られない。予約便との間にもう一つ考えられないか。

町民生活課長：だいぶ検討しなければならない。運転手の確保等、様々なことを考える必要がある。

(11 : 14 ~ 11 : 25 休憩)

(2) 6月議会中の付託条例審査

空き家うち数件、6月12日(木)10:00~現地調査後、条例審査
町民生活課長調整済み。

(3) 優良市町村視察研修について

参考：産建教育常任委員会6/17-6/19 北関東か新潟方面「田んぼダム」予定
「公共交通について」北海道に先進事例(町民生活課委託先関係が候補)。
テーマを次回までにさらに考える。6月閉会中の継続調査申し出予定。

4 その他

5/1-10/31クールビズ 議会本会議等 上着着用・ノーネクタイ 統一

5 閉会宣告[委員長]

(11 : 43 閉会)